

## 📄 制度の概要

東京都が脱炭素社会実現に向けて実施する水素エネルギー活用促進事業です。再生可能エネルギー由来水素活用設備や純水素型燃料電池の導入に必要な経費の一部を助成し、事業所におけるレジリエンス向上を図ります。

水素バリューチェーン推進協議会との連携により、事業者の水素エネルギー実装化を総合的に支援する**包括的な助成制度**として位置づけられています。

## 📄 支援内容

### ☐ 再生可能エネルギー由来水素活用設備

- 水素製造・貯蔵・供給設備一式
- 都外設置も対象（条件あり）

最大3億7,000万円

助成率：1/2以内

### ☐ 水素利用機器

- 純水素型燃料電池・水素燃料ボイラー
- 水素バーナー・温水発生機・運搬設備

最大8,700万円

助成率：2/3以内

## 👤 対象となる取組

### 【設備導入要件】

- 再エネ由来水素活用設備の新規・更新設置
- 純水素型燃料電池等の新規・更新設置
- 既存設備の高効率化・大容量化改修

### 【普及啓発活動（必須）】

- 見学会の開催（オンライン可）
- ホームページでの公表・情報発信
- ソーシャルメディアでの投稿

## 👤 対象者

- 民間事業者**（都内に事業所を有する法人）
- 区市町村等の地方公共団体
- その他都が適当と認める団体
- 複数者による共同事業体も対象

## 💡 採択率向上のポイント

- 事前相談の活用**：設備仕様や助成対象経費の確認が重要
- 普及啓発計画**：**具体的な**見学会・情報発信計画の策定
- 他制度との併用**：国補助金との重複申請で最大効果
- 事業継続性**：長期的な水素活用ビジョンの明示

## 📊 戦略的分析

### 【段階的導入戦略】

- 小規模機器**から開始し実績を積む
- 燃料電池車両導入と**セット活用**で効果最大化
- 水素バリューチェーン協議会の**技術支援**活用

### 【事業拡大への道筋】

- 都外設置枠**で製造事業への発展可能
- 複数設備の**同時申請**で総合効率向上
- 地域連携による**水素供給網**構築

## 📊 設備別導入実績の分布



**純水素型燃料電池**：全体の約40%を占め最も導入が進む  
**平均助成額**：約2,800万円（設備規模により変動大）

## 🔧 設備カテゴリ別特徴

設備分類	特徴・効果
水素製造設備	最大助成額・長期的収益性高
燃料電池	実績豊富・導入しやすい
水素ボイラー	既存設備からの置換え容易
運搬設備	水素供給事業への展開可能
貯蔵設備	レジリエンス効果が大きい

## 👤 専門家活用のススメ

- 技術コンサル**：水素設備の最適設計と効率化提案
- 申請支援**：複雑な技術要件と経費計算の専門対応
- 事業計画策定**：長期的な水素活用ロードマップ作成
- 普及啓発企画**：効果的な見学会・情報発信戦略立案

## 📄 必要書類とチェックポイント

\*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/27作成】

提出書類	チェックポイント
助成金交付申請書	<input type="checkbox"/> <b>設備仕様</b> の詳細記載 <input type="checkbox"/> 普及啓発活動計画の <b>具体性</b>
助成対象事業実施計画書	<input type="checkbox"/> 設計・工事工程の実現可能性 <input type="checkbox"/> 経費積算の適切性
設備機器仕様書・見積書	<input type="checkbox"/> 要綱適合性の技術的証明 <input type="checkbox"/> 価格の妥当性・内訳明細
誓約書・その他	<input type="checkbox"/> 法人登記事項証明書 <input type="checkbox"/> 納税証明書・決算書類

## 📅 申請スケジュール

- 事前準備期間**  
事前相談で設備仕様確認。書類準備に2~3ヶ月必要。国補助金との併用申請調整も重要。
- 申請受付期間**  
**2025年4月1日~2026年3月31日**  
郵送または窓口持参。**予算到達**で受付終了の可能性あり。
- 審査・交付決定**  
申請から約1~2ヶ月で結果通知
- 事業実施期間**  
交付決定後~2026年3月31日まで
- 実績報告・支払**  
**事業完了後30日以内**に実績報告書提出。  
審査後約1ヶ月で助成金支払。

## ⚠️ 補足事項

- 設備は助成事業完了後5年間の財産管理義務あり
- 年次報告により水素製造・消費実績の継続報告必要

## ❓ 問い合わせ

制度詳細	<a href="https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/3_7hydrogen_recycle">https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/3_7hydrogen_recycle</a>
お問い合わせ	都市エネ促進チーム TEL：03-5990-5175 受付：平日9:00~12:00 13:00~17:00